

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス はびねす東和田		
○保護者評価実施期間	2026年02月01日		2026年02月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70名	(回答者数) 31名
○従業者評価実施期間	2026年02月01日		2026年02月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所を利用する際の運営規程、支援プログラム、利用者負担等についての説明。	見学時には、実際に療育を行っている様子を見ていただきながら、また通信や資料を用いて詳しく説明を行っている。 契約時には、説明をしながら保護者様へ不明点の有無について、その都度聞き取りを行っている。不明点があった際には、事例を出し、より具体的な説明を行っている。	職員全体が同じ認識で、同じ説明が出来るように、研修などの教える場、教わる場を設けていく。
2	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する情報の発信。	InstagramなどのSNSで、活動の様子などを週2回投稿を行っている。 また通信やお子様の1ヶ月の様子も、写真などを使いながら作成し、保護者様へお配りしている。	当事業所で行っている事をより多くの方に知ってもらうために、頻度や質を上げていく。
3	生活空間が清潔で、心地よく過ごせる環境であり、活動に合わせた空間を提供している。	活動に応じて、職員間で話し合い、適切な環境設定を行っている。 また、お子様が来所する前の清掃や、物の位置など環境整備にも力を入れている。	怪我や事故が無い事業所を目指し、必要なものは取り入れ、不要なものは破棄していく。 またその都度、職員全体で環境設定について話し合い、より良い環境設定を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の児童と活動する機会の不足	基本的に活動を行う際には、事業所内のみで行っていることがほとんどである。 児童館などと交流会を行った事例が無い。	まずは当社の事業所間での交流会を行い、少しでも自事業所以外の児童と交流する機会を設ける。
2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練がされているかの周知不足	年2回の避難訓練や、災害時の対応の動画視聴を行っているが、保護者様や外部への周知が不足している。	SNSでの周知は継続して行いながら、支援会議や見学時などに保護者様や外部の方に知ってもらうために、行っている旨をお伝えする。
3	保護者会等の開催不足	親子イベントや、茶話会と称して、保護者様が活動に参加する場や、交流をする場を設けているが、参加するご家庭が一定である。 また、きょうだい向けの会などは行った実績が無い。	テーマを決め、保護者会を行っていき、ご両親のみでは無く、きょうだいの参加も促していく。 また、行った内容は、参加が無かった方や、外部の方にも知ってもらうため、SNSなどでの周知も行っていく。